

不動産流通推進センターの「業界団体教育支援事業」ラインナップ

* 講習内容の詳細、費用(謝金額など)は[こちら](#)から確認いただけます。(詳細版のラインナップを開くためにはパスワードが必要です。)

パスワードは、事務局の皆さまにメール等でお知らせしています。ご不明な場合は、事業推進室までお問合せください。)

不動産流通推進センター 事業推進室 suisin2@retpc.jp

ジャンル	研修テーマ	講義時間(目安)	講師	所属等	資格等	内 容	テキスト
新(初基 任)向、礎	① 初任従業者・新規免許取得者向け 宅建業務の基本的留意点	2～3時間	並木英司 氏 他	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	宅建業に従事して間もない従業者や、業界団体の新規会員向け研修。媒介業務の流れ・調査・価格査定・媒介契約・広告・重要事項説明・契約等の基本的な留意点を、紛争事例も交えながら講義。 宅建実務経験を有する当センター職員を講師として派遣。	「媒介業務がよくわかる宅地建物取引 業務の知識」 (当センター編集・発行)
	② 不動産の基礎知識	1.5時間	野田誠 氏	野田誠不動産総合コンサル (元・三菱信託銀行(株))	不動産鑑定士	不動産の価格(公示地価/基準地価等)、不動産業の種類といった不動産業の基礎知識の、不動産の証券化等の新しい不動産ビジネスや不動産市場の掘り方等についてわかりやすく講義。	講師作成レジュメ(原稿)
2. 重要 事項 説明	① 重要事項説明書・売買契約書の書き方、 特約文例のポイント	1.5～2時間	並木英司 氏 他	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	重要事項説明書、売買契約書の特約文例を中心に、基本の確認、関連する紛争事例、注意すべき記載例、実務上の留意点等を解説。宅建実務経験を有する当センター職員を講師として派遣。	センター作成レジュメ (原稿)
	② IT重説(他社と差がつくWEB活用法)	1.5時間	加藤勉 氏	有限会社リビングホーム 代表取締役(全日)	公認 不動産コン サルティングマスター/ 宅建マイスター	IT重説とは何か、IT重説の事前準備から実施後の管理までの手順、IT重説に求められるもの等を解説するほか、ビジネスチャンスが広がるIT重説システム活用法も講義。登録実務講習の講師として定評のあるITを活用した重要事項説明に係る検証検討会委員を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	③ ヒヤリハット!トラブル事例に学ぶ調査の深掘りと対策 No.1(位置指定道路、地中埋設物、旧法定外公共物、心理的瑕疵)	2時間	渡邊 宏 氏	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	主要な不動産流通各社で実際の取引で発生したトラブル事例をまとめた「ヒヤリハット!トラブル事例集」をテキストに、仲介取引に潜む見落としがちなリスクを見極め、豊富な取引資料をもとに、トラブルを未然に防ぐための「調査の深掘り」とリスクをトラブルに繋げないための対策について解説。(トラブル事例:①位置指定道路 ②地中埋設物 ③旧法定外公共物 ④地理的瑕疵の調査義務)	「ヒヤリハット! 不動産仲介トラブル事例集」(当センター編集・発行)、講師作成レジュメ(原稿)
	④ ヒヤリハット!トラブル事例に学ぶ調査の深掘りと対策 No.2(42条2項道路、土壌汚染、越境、心理的(環境)瑕疵) NEW!	2時間	渡邊 宏 氏	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	主要な不動産流通各社で実際の取引で発生したトラブル事例をまとめた「ヒヤリハット!トラブル事例集」をテキストに、仲介取引に潜む見落としがちなリスクを見極め、豊富な取引資料をもとに、トラブルを未然に防ぐための「調査の深掘り」とリスクをトラブルに繋げないための対策について解説。(トラブル事例:①42条2項道路 ②土壌汚染 ③越境 ④心理的(環境)瑕疵の範囲)	「ヒヤリハット! 不動産仲介トラブル事例集」(当センター編集・発行)、講師作成レジュメ(原稿)
	⑤ 一宅建業者が知っておくべき 注意を要する不動産登記の見方・読み方30例	2～3時間	渡辺 秀男 氏	渡辺不動産取引法実務 研究所 所長	行政書士 マンション管理士	不動産取引において注意を要する不動産登記の見方・読み方30例を具体的な登記例を示して解説します。	講師作成レジュメ(原稿)
	⑥ インспекションに対する業法上の留意点	1.5時間	野田誠 氏	野田誠不動産総合コンサル (元・三菱信託銀行(株))	不動産鑑定士	宅建業法改正の背景、業法が求める「建物状況調査」の対応(媒介、重説、契約等)について講義。登録実務講習の講師として定評のある不動産鑑定士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	⑦ 災害リスクに関する調査の重要性と 重要事項説明におけるポイント	1.5～2時間	藤崎 一弘 氏	株式会社FKプランニング 代表取締役	公認 不動産コン サルティングマスター	売買対象地域の自然災害リスクを調査・説明する重要性について、「災害対策基本法」に加え、令和4年5月から施行される「盛土規制法」を踏まえて、地震・水害・土砂災害リスクを正確に調査・説明するポイントを実務の視点から解説。	講師作成レジュメ(原稿)
3. 取 引の 安全 確保	① 紛争事例からリスクの 予見・調査・説明力を磨く	1.5時間	北澤 秀樹 氏	北澤不動産コンサルティング	不動産鑑定士	瑕疵担保責任から契約不適合責任へ、物件や取引に内在する契約目的に適合しない不具合を予見し調査する能力が益々重要になる。不動産会社にほどまでの予見能力が求められるか、具体的な紛争事例で物件や取引当事者に内在するリスクを予見し調査する能力を学ぶ。 宅建マイスター集中講座の講師として定評のある不動産鑑定士を講師として紹介。	「宅建マイスターテキスト 改訂版」(当センター編集・発行) 講師作成レジュメ(原稿)
	② 不動産取引に関する実践的な法律の知識	2時間	柴田 龍太郎 氏	深澤総合法律事務所	弁護士	不動産取引に関する私法の実践的知識の習得を目的とする。契約・成年後見・抵当権・消費者契約・瑕疵担保責任・相続・遺言・借地借家などからテーマを選び、スキルアップのための専門力を磨く。 不動産コンサルティング技能試験登録制度の講師として定評のある弁護士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	③ <事例・判例で学ぶ>賃貸借契約の成立過程における 問題点と成立後の諸問題(演習付) NEW!	2時間	渡辺 秀男 氏	渡辺不動産取引法実務 研究所 所長	行政書士 マンション管理士	建物賃貸借契約の成立から明渡しに至るまでの疑問点・問題点を事例・判例・演習を交えて具体的に解説し、併せて、借地契約の解約に関する問題も解説します。講義内容の目次は こちら 。	講師作成レジュメ(原稿)
	④ 一宅建業者が知っておくべき 所有者不明土地特措法と空き家対策を含む民法 ・不動産登記法の改正	2時間	渡辺 秀男 氏	渡辺不動産取引法実務 研究所 所長	行政書士 マンション管理士	所有者の特定や、所有者の所在地把握の困難な「所有者不明土地」が社会問題となっている。本講座では、不動産業者として知っておくべき「所有者不明土地特措法」の内容とそれらの土地の取得・利用・仲介における必要知識として、令和3年に改正された民法・不動産登記法との関係を中心に掘り下げて解説。(2024年10月以降は下記3.⑤に差し替えになります。)	講師作成レジュメ(原稿)
	⑤ 一よくわかる・すべてを「事例」で解説する一 空き家・相続登記の義務化を含む 民法・不動産登記法の改正Q&A 30例 NEW!	2時間	渡辺 秀男 氏	渡辺不動産取引法実務 研究所 所長	行政書士 マンション管理士	所有者不明土地の問題解決と発生予防を目的に不動産の「所有・登記制度」を抜本的に改正する民法・不動産登記法の改正内容を、すべて日常の「不動産事例」によるQ&A方式で具体的にわかりやすく解説します。(2024年10月1日以降に実施する研修より依頼可能です。) 講義内容の目次は こちら 。	講師作成レジュメ(原稿)
	⑥ 不動産相談コーナーに寄せられた 相談事例から見る最近の相談内容	1.5時間	並木英司 氏 他	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	当センターの不動産相談室に毎日寄せられる電話相談の中から、不動産取引担当者として知っておきたい最近の相談内容と回答の概要、関連する相談事例、およびそれらの実務上の留意点を分かりやすく紹介する。不動産相談業務に当たっている当センター職員を講師として派遣。	講師作成レジュメ(原稿)
	⑦ 不動産流通業のコンプライアンス《実践編》 ＝法令遵守だけじゃない!日常業務にも落とし穴	1.5～2時間	並木英司 氏 他	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	当センター発行「不動産流通業界で働く人の 実践!コンプライアンス」をテキストとした研修。収録された50事例を取り上げ、①その事例が陥ってしまった原因・背景、②法的・制度的根拠、③波及する影響、④対応策・防止策、⑤類似の事例・トラブル等について、実務上の留意点をわかりやすく解説。宅建実務経験を有する当センター職員を講師として派遣。	「不動産流通業界で働く人の 実践!コン プライアンス 改訂版」 (当センター編集・発行)
	⑧ 最近の法令改正と実務上の留意点	1～1.5時間	並木英司 氏 他	不動産流通推進センター	公認 不動産コン サルティングマスター	改正法令のポイントと宅建実務上の留意点を解説。当センター発行「法令改正のポイント」を教材とした研修。 宅建実務経験を有する当センター職員を講師として派遣。	不動産関連「法令改正のポイント」 (当センター編集・発行)
	⑨ 契約不適合責任に関する特約の可否と トラブル防止・解決のための指針	2時間	渡辺 秀男 氏	渡辺不動産取引法実務 研究所 所長	行政書士 マンション管理士	契約不適合責任の全体像を把握した上で、各種特約の可否とそれに伴うトラブル防止・解決のための指針を事例で学ぶ。	講師作成レジュメ(原稿)
	⑩ 「不動産流通実務必読テキスト」で学ぶ 物件調査と不動産取引のポイント	1.5時間	野田誠 氏	野田誠不動産総合コンサル (元・三菱信託銀行(株))	不動産鑑定士	当センターが実施する不動産流通実務における《実務知識・行動規範・実応用力》の総合力を測る「不動産流通実務検定「スコア」」。この検定の問題をもとに、現場で起こり得るトラブルを未然に防ぐための物件調査と不動産取引のポイントについて具体的に解説。現場での判断力を強化することを目的にした実践的な内容。	「“スコア”受検に役立つ不動産流通実 務必読テキスト」 (当センター編集・発行)
4. 実 務 借 貸	① 改正民法(賃貸借関係)	1.5時間	吉田修平 氏	吉田修平法律事務所	弁護士	講師編者の「民法改正と不動産取引」をテキストとして、不動産賃貸借に関する民法(債権法)改正のポイントを講義。 フォローアップ研修等の講師として定評のある弁護士を講師として紹介。	民法改正と不動産取引(1,620円)
5. 建 築	① インспекターの立場から見た木造建築の不具合 とインспекション	1.5時間	中谷龍海 氏	アーキテナー級建築士事務所	一級建築士	木造住宅に発生する様々な不具合である不同沈下、ひび割れ、雨漏り、結露などの起こりやすい箇所・原因とその対策について解説。またインспекションを行う立場でこれらの不具合事象を解説。フォローアップ研修等の講師として定評のある一級建築士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	② インспекションにおける実務上の留意点・瑕疵保険、安 心R住宅	1.5時間	妹尾和江 氏	リジュネビルド株式会社 代表取締役(全日)	JSHI公認ホームイン スペクター	アメリカのインспекションから学ぶべき点、業法施行以降の現場の状況等を交えながらインспекションについて解説。このほか瑕疵保険、安心R住宅についても講義。 宅建マイスター養成講座の講師として定評あり、海外のインспекション事情に精通したJSHI公認ホームインスペクターを講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	③ 知っておきたい建築の知識	1.5時間	桑原謙一 氏	不動産流通推進センター実施 の講習講師 (元・(株)りそな銀行)	一級建築士	不動産業を行う上で、知っておきたい建築設計の知識(その土地にどのような建物を建てることができるのか、その土地の法規制が建物にどのような影響を与えるのか等)を具体例に基づいて講義。登録実務講習の講師として定評のある一級建築士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	④ 「宅建業者が知っておきたい! 取引における 地盤と建物基礎の留意点」	1.5時間	中谷龍海 氏	アーキテナー級建築士事務所	一級建築士	日本ではこれまで地震や台風・豪雨などによる災害のたびに、災害防止や建築強化に関連する法令が制定・整備されてきた。関係法令の確認をするとともに、地盤調査の重要性および宅地に潜むリスクと対策を考える講座。また、上記に関連して土地活用の種類やパターンについて様々な方法を探っていく。フォローアップ研修等の講師として定評のある一級建築士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
6. 税 制	① 不動産税制＝改正点、宅建業務における留意点 (トラブル事例等)	1.5～2時間	山端 康幸 氏	(税)東京シティ税理士事務所 所長	税理士	改正税制のポイント解説と、宅建業務を進めるうえで陥りやすい税務の留意点をトラブル事例を織り交ぜ講義。 不動産業務に精通した税理士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
7. そ の 他	① 相続法改正	1.5時間	吉田修平 氏	吉田修平法律事務所	弁護士	配偶者の居住権、自宅贈与等についての持戻免除の意思表示の推定、仮払い制度の創設等相続法改正が不動産に与える影響を講義。フォローアップ研修等の講師として定評のある弁護士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)
	② 宅地建物取引業者のためのコンサルティング活用講座	2時間	大澤健司 氏	株式会社K-コンサルティング 代表取締役	公認 不動産コン サルティングマスター	顧客の不動産問題を解決する解決・提案力の重要性を認識し、さらに不動産コンサルティングの具体的な活用例を学ぶ。①コンサルティングに必要なスキルを理解し、そのための基本知識の習得ができる内容とする②提案の切り口・重要性を学び、他の流通業者との差別化を学ぶ。③物件情報だけに頼らず、各自のコンサルティング力によって、流通業の仕事フィールドを拡大する事例を学ぶ。	講師作成レジュメ(原稿)
	③ アフターコロナ時代に指摘しなければならないパラダイム シフト NEW!	2時間	水谷敏也 氏	不動産総合戦略協会客員研究員 (元・三菱UFJモルガンスタンレー証 券首席アナリスト)		日経平均株価は34年振りに過去最高値を更新しましたが、このことは単に株価が上がっただけではなく社会全体の構造的変化を象徴している出来事です。構造的変化を理解することは不動産ビジネスに取り組みうえで不可欠なことです。①インフレ時代への転換、賃金上昇時代到来、②人手不足社会をどうように生き抜くか、③多文化共生社会の進展、といった3つのテーマを基にこれから2030年に向けてどのようにビジネス環境、社会環境が変わっていくかについて解説します。	講師作成レジュメ(原稿)
	④ 「高齢者の不動産取引の基礎知識と具体的な手法解説」 ～空き家発生の多くは相続から～	1.5時間	北澤 秀樹 氏	北澤不動産コンサルティング	不動産鑑定士	超高齢社会の到来は、住宅などの不動産を所有する方々の多くが高齢化していることを意味し、これにより所有者の認知症リスクが格段に上昇。売買や賃貸などの取引に支障を及ぼすうえ、生前の相続対策が必要な場合にももてできないというリスクが上昇。空き家の発生を未然に防ぎ、成年後見制度に依存せず、高齢者が所有する不動産の価値を毀滅させない「相続ビジネス」。不動産業界でも必要となってきた同ビジネスを展開するために、遺言、任意後見制度、民事信託(家族信託)など、具体的な手法について解説。宅建マイスター集中講座の講師として定評のある不動産鑑定士を講師として紹介。	講師作成レジュメ(原稿)